

高 佐高だより



祝 第27回宮崎県立佐土原高等学校 卒業証書授与式



第27回卒業式

3月1日に27回目の本年度卒業式を迎えました。担任を先頭に入場する卒業生の姿は、思い思いに3年間で振り返っているようでどこか誇らしげな表情でした。在校生の送辞、卒業生の答辞とどちらも思いが募り、会場中が涙で包まれました。厳粛な中にも卒業生と在校生、職員、保護者、ご来賓の方々それぞれの気持ちのこもった素晴らしい卒業式となりました。佐高は、巣立っていく総勢236名のこれからの活躍をずっと応援しています。



3年A級



3年B級



3年C級



3年D級



3年E級



3年F級

デザイン技術部の1・2年生が卒業生へのサプライズとお祝いの気持ちを込めて**黒板アート**を制作しました！先輩達の卒業や未来への希望をテーマにイメージを膨らませ、3年生6クラスの黒板をそれぞれ華やかに彩ってくれました。

生徒の声を取材！ -生徒会広報委員会-

「今年度の学校生活で、記憶に残ったこと」

◆総合優勝を青团、応援賞を赤団が勝ち取った体育祭について、1Fの谷口さんは、「体育祭が一番楽しかった。生まれて初めてリーダーになって、総合優勝を獲ることができたので良かった。」と話してくれました。（2F重松）

◆バレー部に所属している2Eの長友さんは、「高校総体でベスト16に入ったこと。今まで入ったことがなかったので、嬉しかった。」と笑顔で話してくれました。生徒全員が協力し、準備した銀麗祭について、2Eの稲垣さんは、「銀麗祭です。吹奏楽部の先輩たちと楽しく演奏することができました。」と嬉しそうに話してくれました。（1E高松・門松）

「次年度の目標」

◇吹奏楽部に所属している2A岩本さんは、「受験も大事だけど、部活でもう一つ上の賞を取りたい。」と強い気持ちを話してくれました。（1A吉岡）

◇2Cの橋口さんは、「テストであと一歩のところが多かったので、今後はそれをなくしていきたい。また、受験も迫っているので、とくに力をいれていきたいです。」と決意を話してくれました。（1C長嶺）

県美術展 準特選

第43回 宮崎県美術展が2月25日～3月12日に県立美術館で開催されています。デザイン部門では1年生18名、2年生13名が入選、うち2名が準特選と、全体の半数が本校生という快挙を成し遂げました。また、卒業生も2名入選と頑張ってくれています。準特選の2人に話を聞いたところ、1年の長友涼夏さんは「自分の気持ちを描いてみたいと思いました。満足できていないところが沢山あるのですが、結果的に準特選がとれてよかったです。」とほっとした様子。2年の稲垣莉子さんは「AIに操られている人々をテーマに制作しました。AIは便利ですが、少し怖い存在だということが伝わればいいなと思います。」と語ってくれました。



中村 莉子 『#AI』



長友 涼夏
『行方をくらし、本心を隠すこと』